

IIJ電子@連絡帳サービス 地域資源連携オプションのご説明



2022/07/11
株式会社インターネットイニシアティブ
公共システム事業部ヘルスケア事業推進部

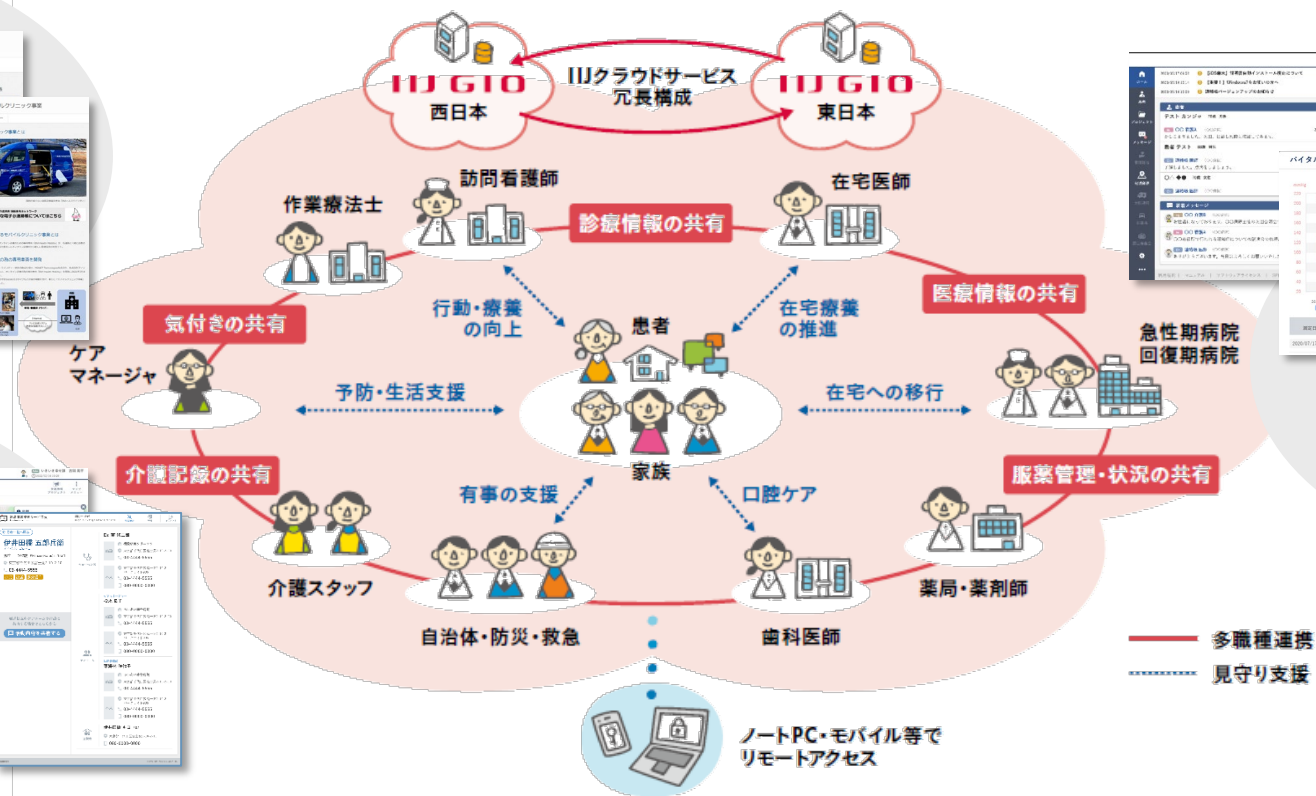
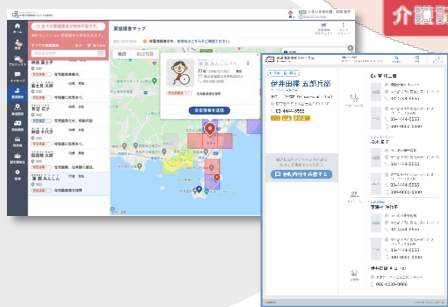
IJ電子@連絡帳サービス

「地域の医療・介護・福祉に携わる専門職」と「自治体」、「民間サービス」をつなぎ、地域のDXを推進し、様々な地域課題を解決します。

医療・介護の専門職
ネットワークの形成
医療MaaS連携

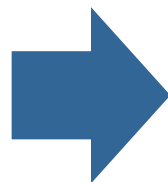


災害時の
要援護者支援
救急連携



在宅医療だけでなく
介護予防施策や
医療的ケア見支援への活用

地域の専門職を
1チームに。



行政と専門職が中心となった地域連携
地域包括ケアから地域共生社会へ

実績 (2022/6末現在)

Service/Project

東京大学COI/わすれなびと
認知症・軽度認知障害の方や
そのご家族のための
ICTコミュニケーションツール
東大病院 神経内科、エーザイ、
ココカラファインによる
パイロットスタディ

2016

IIJ電子@連絡帳サービス開始
地域包括ケアを支援する多職種連携
コミュニケーションツール
名古屋大学医学部附属病院
先端医療開発部先端医療・
臨床研究支援センター
と共同研究により開発

2017

IIJ電子@連絡帳サービス
モバイル版開始

2018

ここのーとオプション開始
患者・家族と専門職を連携



2019

サービスバージョンアップ
暮らしを支えるプラットフォームへ
救急情報連携、災害時情報連携などを実装
UIを刷新し利便性と拡張性を向上。
自治体の災害時要援護者台帳や高齢者独居台帳と連携。
行政データと専門職をつなぐ役割へ。



地域の暮らしを支える専門職ネットワーク
IIJ電子@連絡帳サービス

2020

2021

導入行政・地域

71行政・地域

広域連携した行政



10地域 / 48行政

愛知県内では48行政が
1つの連携協定を締結

利用専門職



19,000人以上
30職種以上

患者/支援対象者数

(医療的ケア児～高齢者
災害時要援護者)



約31,000人

国内最大規模の医療介護福祉連携の
自治体向けプラットフォーム

地域資源連携オプション

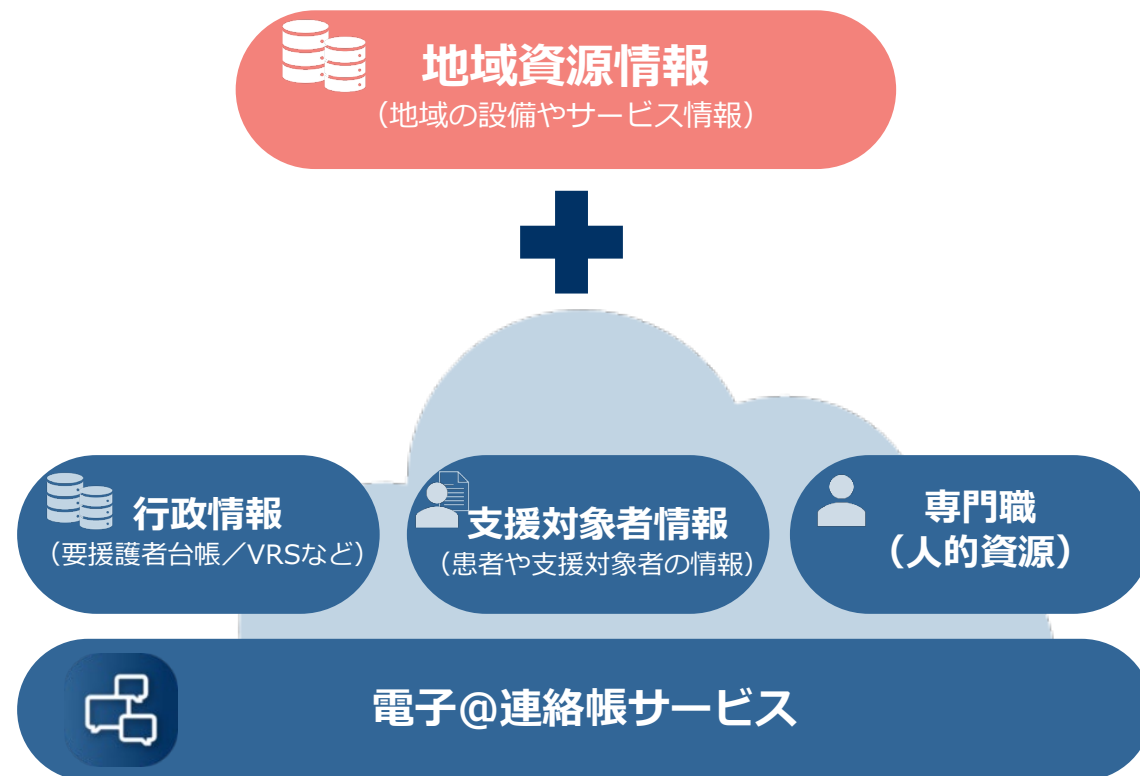
地域資源の情報を統合化、オープン化し、高齢者や住民の社会参加への機会を促進。
高齢者の社会参加の場を増やし、健康増進や介護予防を支援します。

社会参加や地域資源への導線を強化し、専門職から高齢者や住民への情報提供を支援します。

様々な地域資源

- 医療介護施設
- 通いの場/社会参加
(サロン、体操教室、憩いの場)
- 福祉施設
(多目的トイレ、オレンジサポーター)
- 買い物支援 (移動型スーパー) など

- デジタル化の遅れ (紙)
- 散在している地域資源
- 地域資源がうまく活用されない
- どこにあるか分からない
- 活用の状況が把握できない



地域資源連携オプションの位置づけ

多職種連携
1.9万人

行政データ活用
地域資源情報

豊富な導入実績
71行政導入

デジタル田園都市
国家構想交付金
複数地域採用

地域課題を多面的に対応できる機能群



地域資源連携オプション 開発の背景



課題①

地域資源（通いの場）
の情報がどこにあるか
分からない

- パンフレットや一覧表など地域資源を集めているが、バラバラに管理されている。
- 専門職の一部の人のノウハウになっている。

課題②

地域資源（通いの場）
の情報を専門職が
案内しづらい。

- 支援対象となる住民の近くにどのような資源があるか分からない
- 高齢者に情報を渡す方法が限られてしまう（口頭、手書き）

散在している情報の登録と公開、活用と共有を進め、横断的なデータ連携のしくみが必要

地域資源連携オプション 機能紹介

地域資源連携 オプション

機能
①

地域資源の
登録と公開

行政が持つ、地域資源を登録し、ポータルサイト（地域資源マップ）にて公開することで住民に向けた地域資源の情報提供が可能になります。

機能
②

専門職による
地域資源の
マッチング

登録された資源を専門職が検索し、支援を必要とする人に情報提供を行います。
介護予防や、フレイル予防の場面に適切な地域情報を提供します。

今後
実装

データ連携基盤

地域資源を活用したい民間企業との連携を促します。
データ提供だけでなく、事業者のデータを受け取れる双方向性のデータ連携を支援します。

地域の専門職が連携している電子@連絡帳サービスのプラットフォームを活かし、
データ登録と利活用の循環を促し、地域DXを支援します。

機能1 地域資源の登録と公開



地域行政(自治体)

地域資源

- 医療介護施設
- 通いの場 (社会参加) など



地域資源を登録

地域ポータル
地域資源マップ
地域資源連携

The screenshot shows a web interface for 'IIJ電子@連絡帳サービス デモ群青市'. The main page features a map with resource markers. A detailed view of a resource is shown in an inset window, displaying the name 'あいあい詩吟の会', address '千代田区富士見 1-1', and contact information. The interface includes navigation menus, search bars, and a list of resources on the left side.



スマホでもPCでも
検索が可能。

地域資源のURLを
発行
地域資源の告知
検索エンジンの
検索対象に

機能2 専門職による地域資源のマッチング



専門職



患者さんの通いやすい
社会参加の場がないか？



患者
タイムライン
にある
「周辺資源」
をクリック



地図上の
近隣資源を
見つけて
マッチング



専門職から
案内を受けて
安心して
社会参加へ



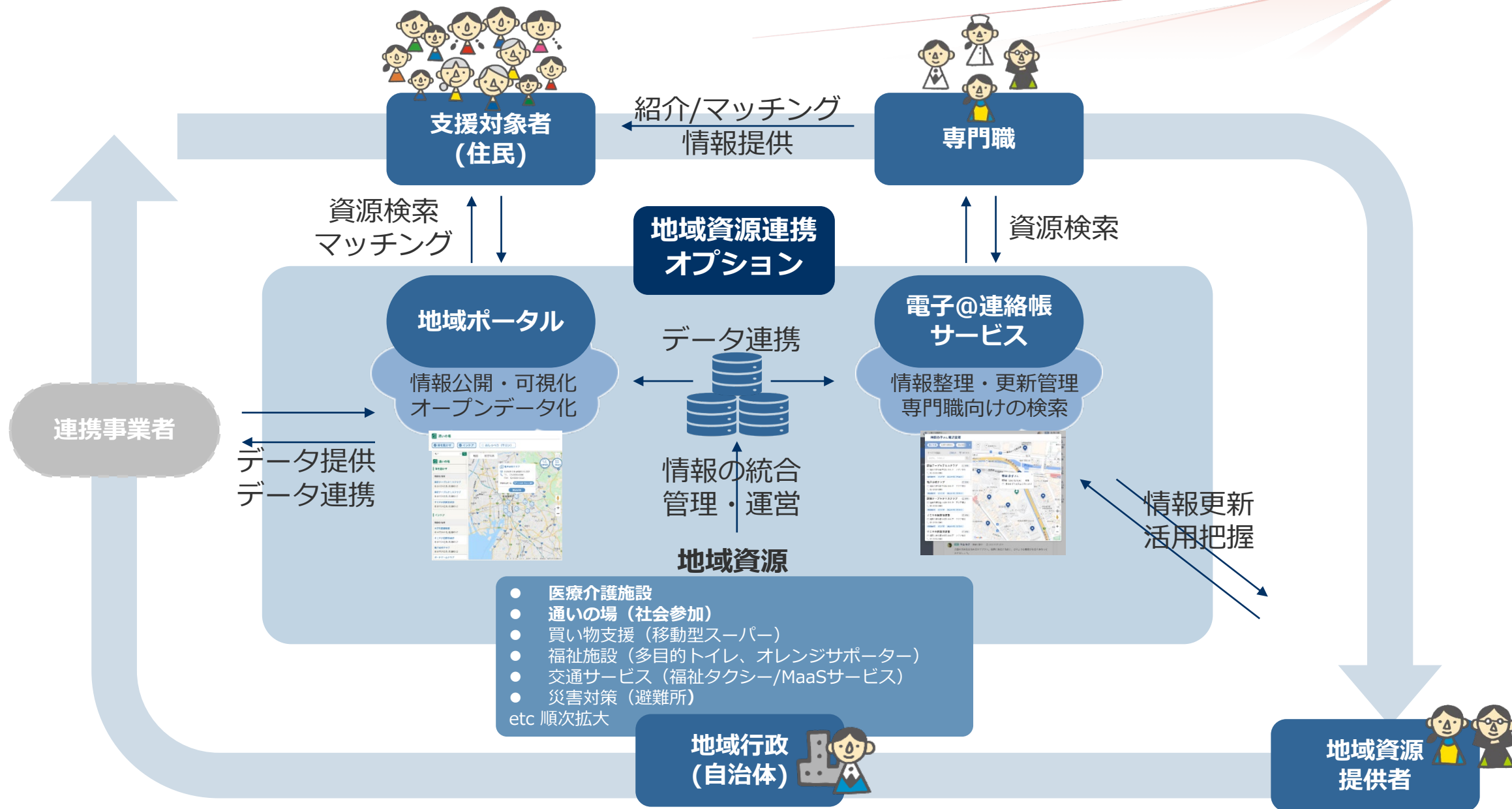
支援対象者
(住民)

スマホが操作が
困難な方向けに
印刷して
情報提供可能

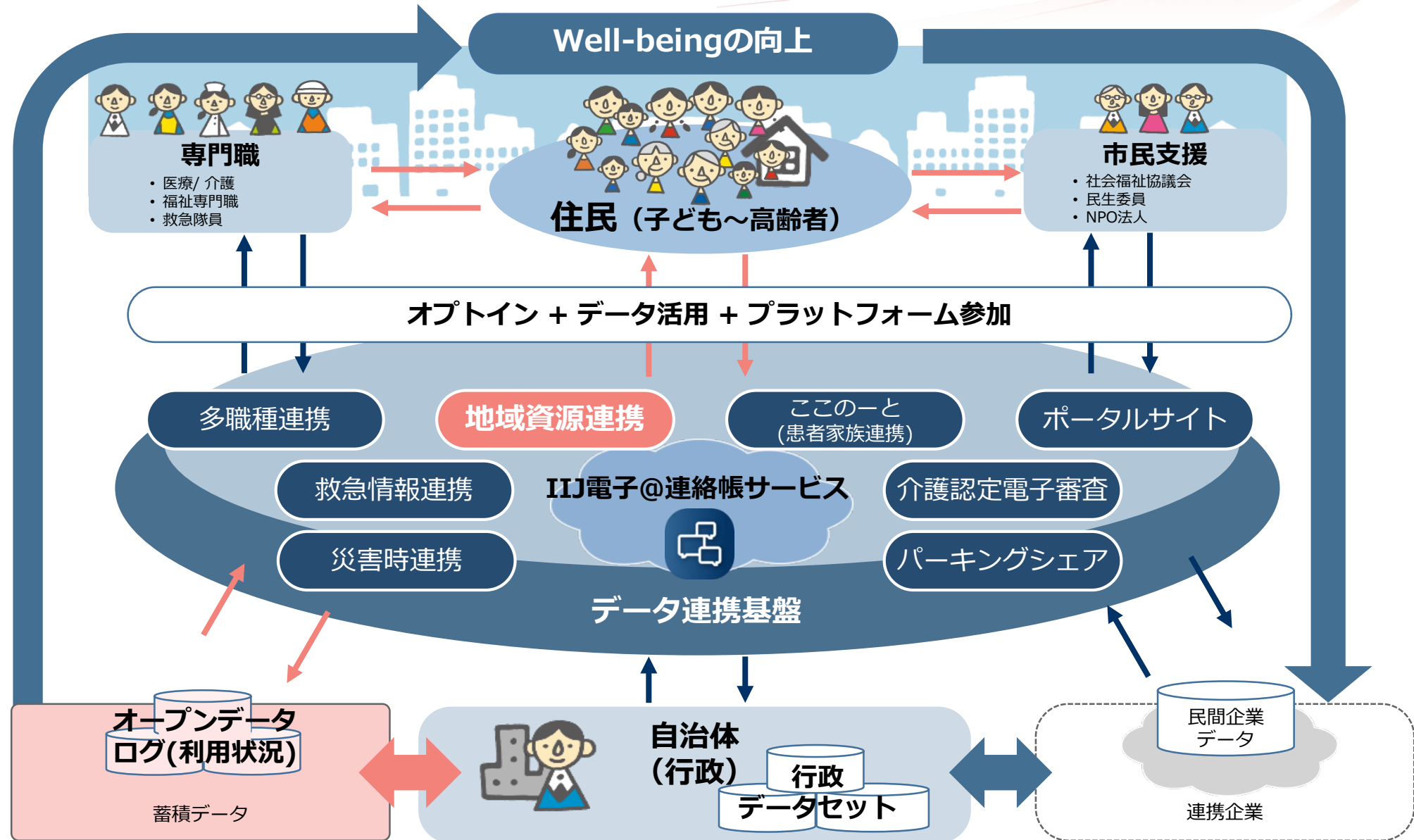


デモンストレーション

地域資源連携オプションの全体像



データ連携とWell-being向上サイクルの実現





日本のインターネットは1992年、IIJとともに始まりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。文中では™、®マークは表示していません。本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。



20220711 株式会社インターネットイニシアティブ 地域資源連携オプション記者説明会

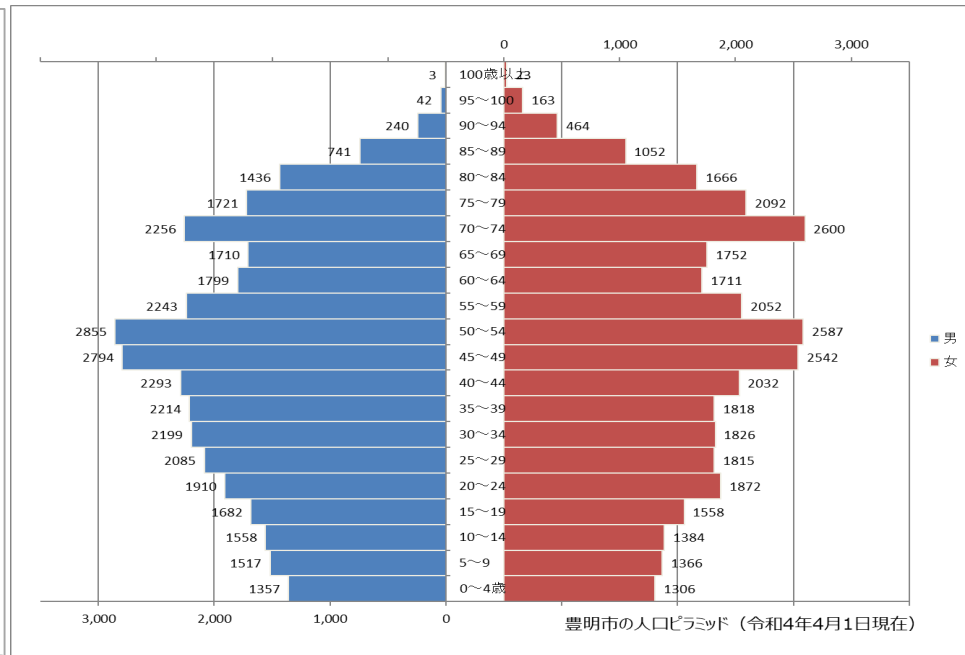
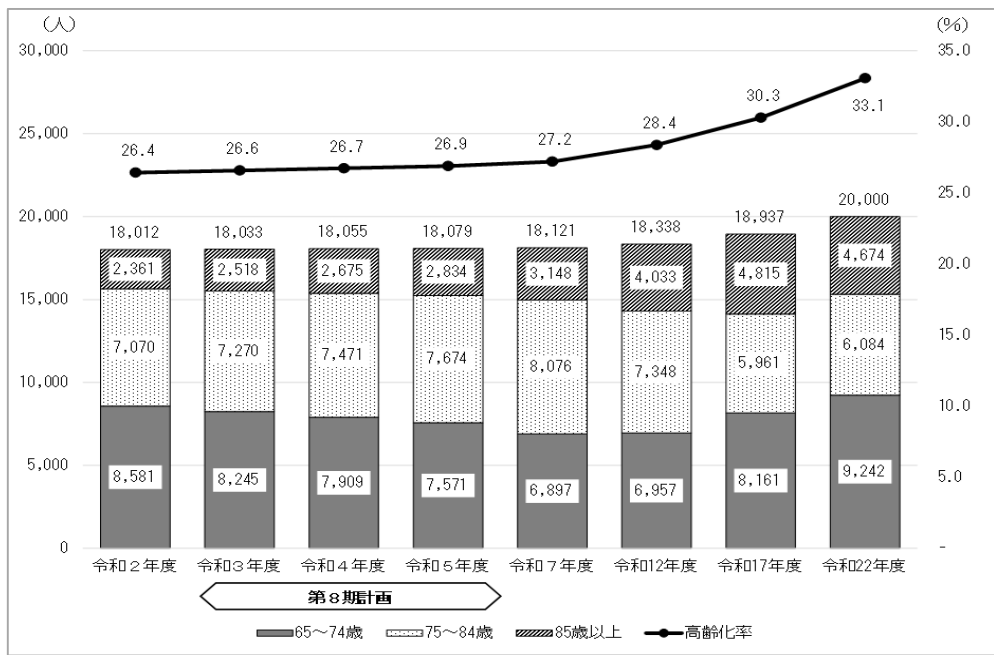
ふつうに暮らせるしあわせをどう守り支えるか

産官学等多様な主体の協働による地域包括ケア「豊明モデル」

愛 知 県 豊 明 市

豊明市の概況

- ・愛知県のほぼ中央に位置する名古屋市ベッドタウン
- ・人口 68,337人 (30,478世帯)
高齢者人口 17,961人 (令和4年4月1日現在)
- ・高齢化率 **26.2%** (県高齢化率より高い)
- ・人口構成は、前期高齢者に人口の山があり、
今後10年の後期高齢者の伸びが著しい地域特性



豊明市の医療・介護資源

医療資源

病院 3 (一般病床1,435、回復期床60、療養28)

藤田医科大学病院、豊明栄病院

桶狭間病院藤田こころケアセンター

診療所 39、歯科 39、薬局 25、訪看 5、訪り八 4

関連師会

- ◆ 医師会 : 東名古屋豊明市医師会
- ◆ 歯科医師会 : 愛豊歯科医師会豊明支部
- ◆ 薬剤師会 : 日進東郷豊明薬剤師会

介護資源

特別養護老人ホーム 4 (259床)

老人保健施設 2 (448床)

訪問介護 5, 通所介護 11

小規模多機能居宅介護 1

認知症対応型共同生活介護 4 (5ユニット)

定期巡回随時対応型訪問看護介護 1

居宅介護支援事業所 13

地域包括支援センター 3 (委託)



藤田医科大学病院

許可ベッド数 : 1,435 床

平均在院日数 : 15,2 日

平均外来患者 : 約 2,100 人/日

医療従事者 : 約 2,600 人

年間手術件数 : 約 11,000 件

退院調整依頼 : 1,500 件/年

年間退院患者数 : 約25,000人

1つの医療施設としては我が国最多を誇る病床
を持つ厚生労働省が定める特定機能病院

地域包括ケアとは：2つのコンセプト

地域を基盤とするケア (community-based care)

- 地域のニーズに根ざし、その地域の人々の信念や価値観にあわせて、人々の住まいや暮らしを中心に、医療・介護・予防・生活支援（住民同士の助け合いも含む）などが、**地域住民の参加によってされる**

包括（統合）ケア (integrated care)

- 医療・介護・福祉・保健を提供する異なる組織、職種間の連携・協調により、ケアが切れ目なく、円滑に行われている

豊明市が目指す地域包括ケアの方向性



できるだけ本人の「ふつうに暮らせるしあわせ」を支える
そのために役立つものを見つける、探す、無ければ創り出す



多職種合同ケアカンファレンスの様子

市が主催する症例検討会議（ケーススタディ型）平成28年4月から月2回実施。

【参加者】

地域包括支援センター、ケアマネジャー、サービス事業所（看護師、リハ職、相談員等）、MSW
医師、歯科医師、薬剤師、PT、OT、ST、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、司法書士、
生活支援コーディネーター、障がい者基幹相談支援センター、生活困窮自立生活相談センター
権利擁護支援センター、大学病院実習生、民間企業 ほか



グラウンドルール 3Ground Rules

① オープンカンファレンス式

参加自由（無報酬） アドバイザー不在（対等な関係）
それぞれの専門分野の英知の結集

② ケーススタディ型

よくある症例を検討 この方「で」考える 次に活かす

③ 「生活モデル」に基づくディスカッション

暮らしを支える視点で検討 議論ではなく対話重視

多職種間の専門性の技術移転

気にする「目」がないと・・・



相談窓口を設けても
ケアマネからの相談がない



在宅ケアをやりたいが
依頼がこない

カンファレンスの効果

歯はどこ
が残って
いる？

これは薬
の
副作用？

スーパー
までの距
離は？

体重
減少？



しなく
なった活
動は？

よく転倒
してる場
所は？

「見えてくる」

水分
不足？

薬が
多すぎ？

気にしてもらえようになって初めて依頼や相談がある

生活ニーズが分かってはじめて 高齢者の暮らしに必要な「資源」が見えてくる

事例で磨かれた「勘」

昔カラオケが
好きだった

買い物したい
が、袋を持っ
て帰れない

送迎付きの
お出かけ先

自分で歩いて
行ける場

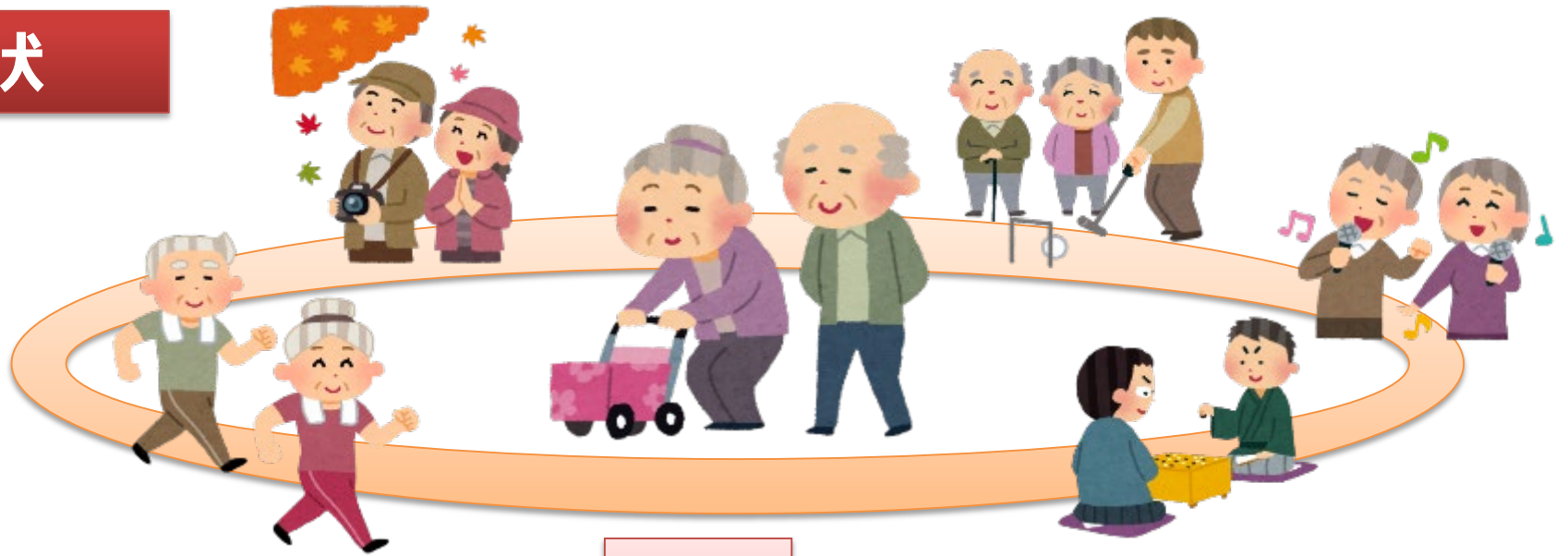
これ使えるかも



生活支援コーディネーター



現状



支援や介護が必要になると、友人・隣人関係は希薄になり支援を受けるだけに



専門職サービスはあるけど・・・

これまでの
地域とのつながりは
疎遠に？

これから



一緒に体操



おかずをおすそわけ



ご近所同士で
茶話会



友人隣人とのなじみの関係
“お互いさまの助け合い”



一緒に買い物



できない家事のお手伝い



支援や介護が必要になっても、**地域社会の中から切り離されず、**
なじみの関係を継続できるようにしていくことが大切

地域のあらゆる資源を活用した「通いの場」



無料送迎バスで天然温泉が通いの場
楽の湯みどり店(株)ナカシロ



高齢者が毎日通う喫茶店での見守り
市内70店以上の喫茶店

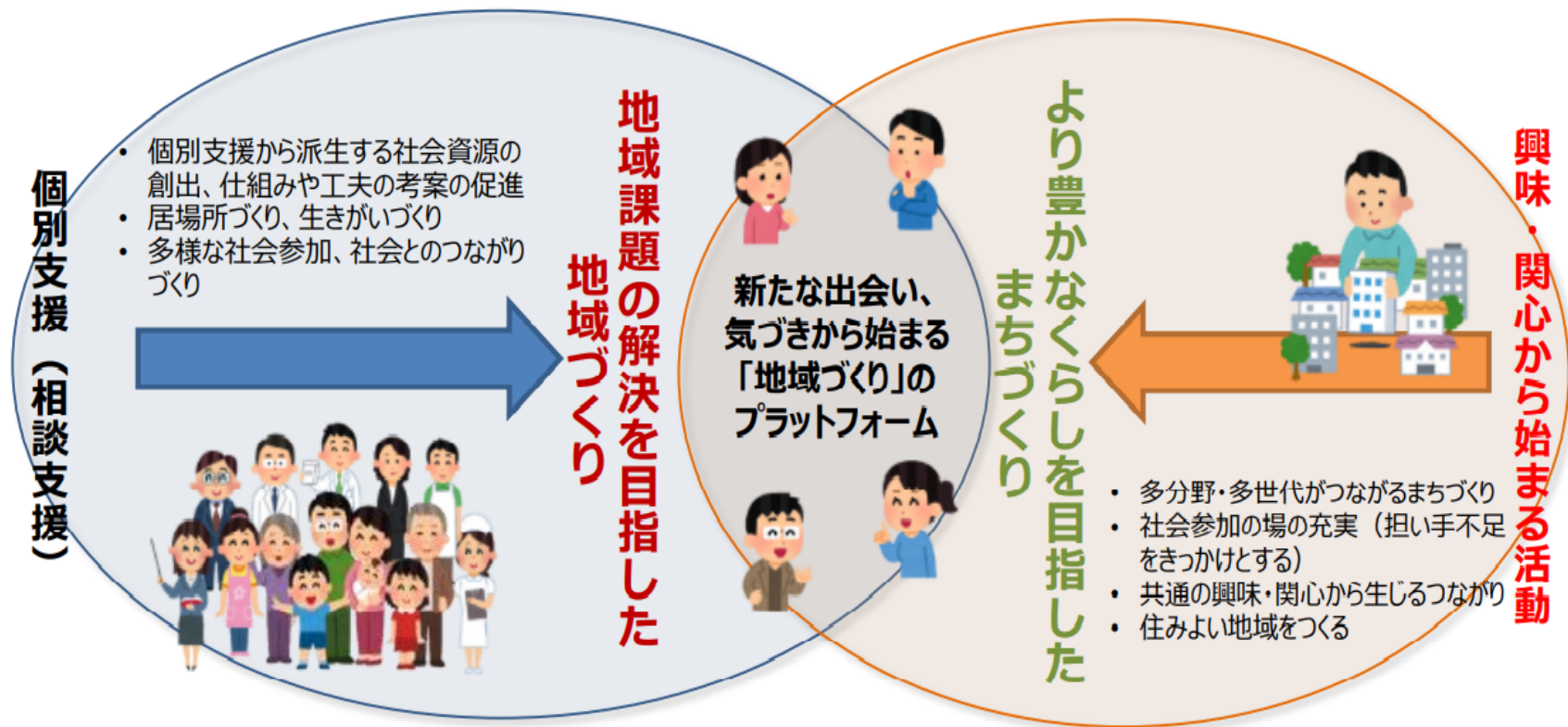


お寺のお堂で、男性が多く参加する健康麻雀
曹源寺



自動車販売店の商談スペースで毎日体操
名古屋トヨペット(株)豊明店

世代や分野を超えた地域包括ケア 地域共生社会の実現



（厚生労働省「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働に関する検討委員会」資料）

地域包括ケアシステム構築ステップ

資源・情報・力を集め

地域へ広げ

使いこなす

集約

分散

個別化

ケアの目的を共有
地域全体が同じベクトルへ